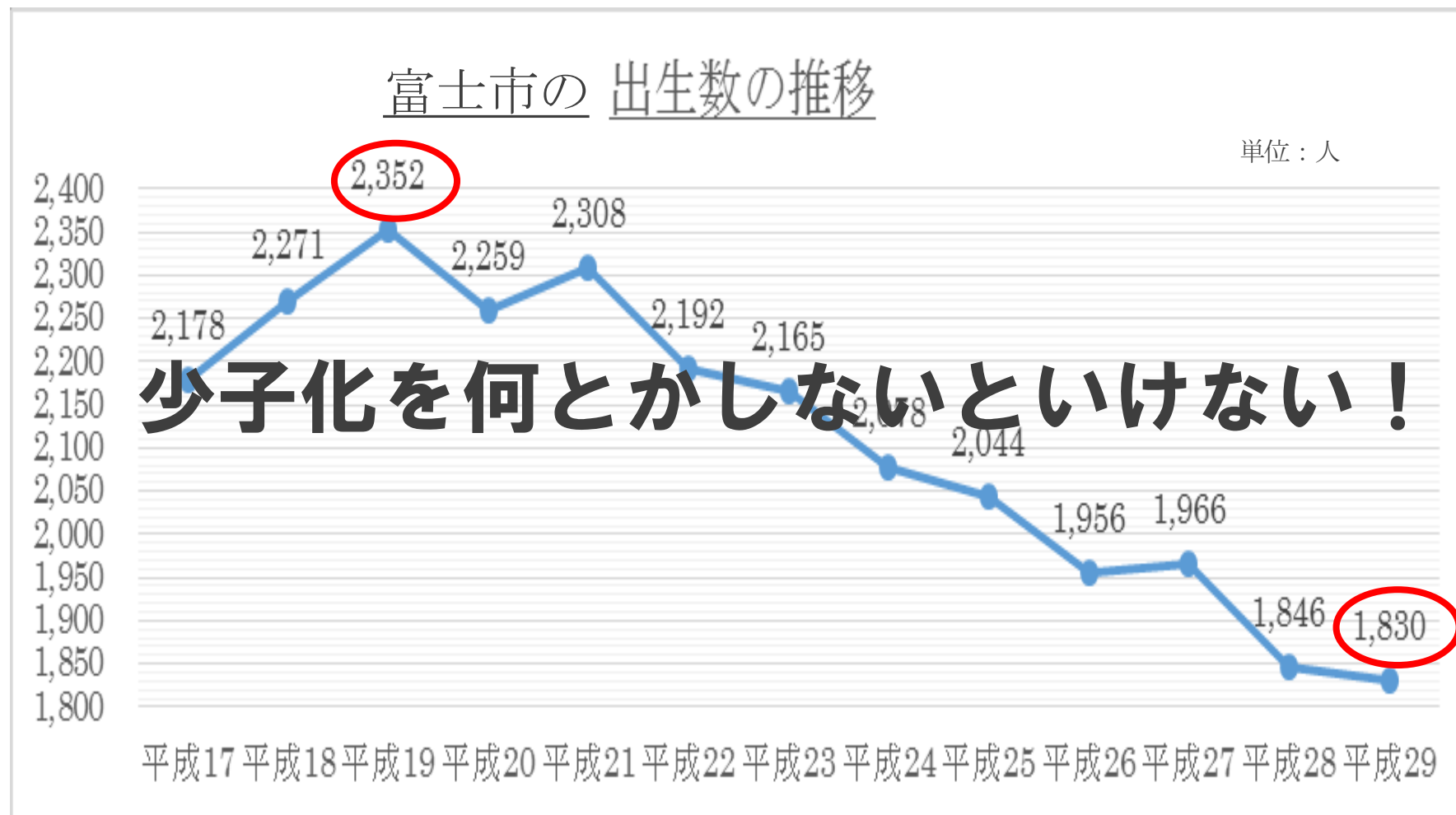


テーマ：急速に進む少子高齢化
～子育て世代を孤立させないために～
「住民の三世代交流会開催」

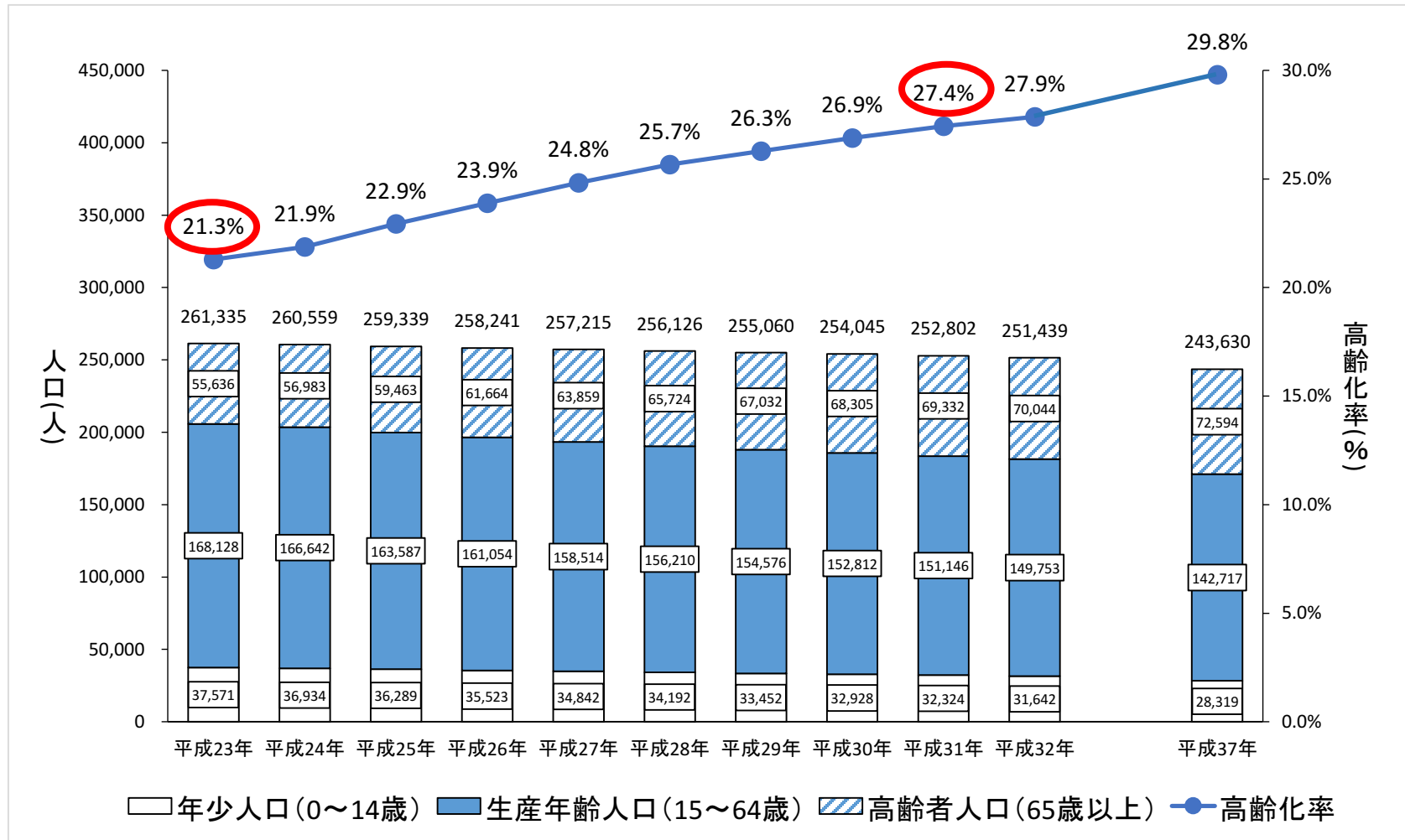
リーダー	石原	聡美
サブリーダー	堀田	久美
	稲葉	久利
	大貫	薰子
	内野	浩恵
	井出	歩美

背景① 急速に少子化が進んでいる



背景②急速に高齢化が進んでいる

富士市の総人口の推移、高齢化率の変化

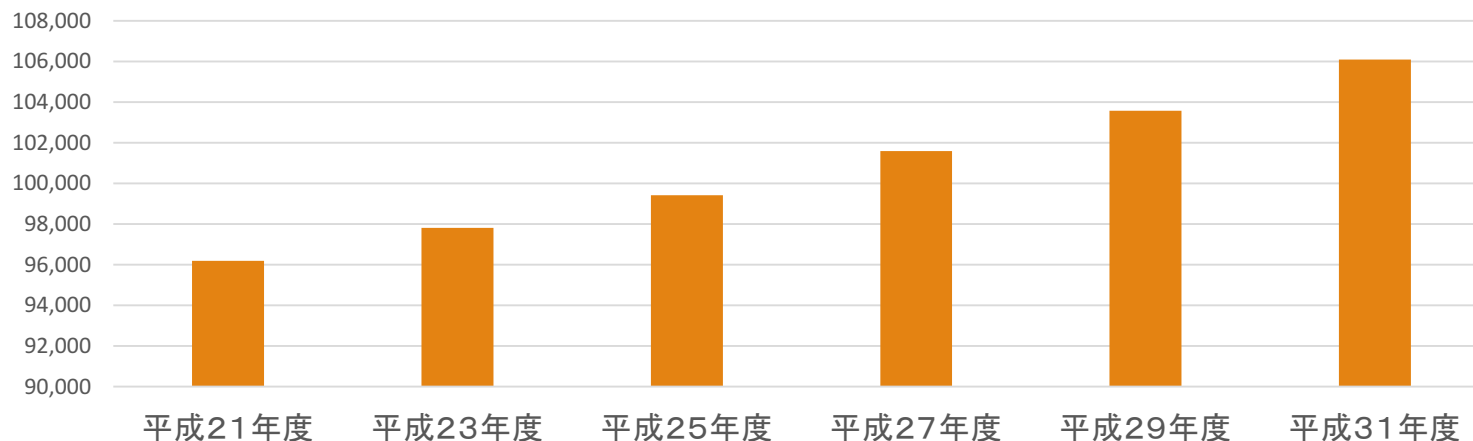


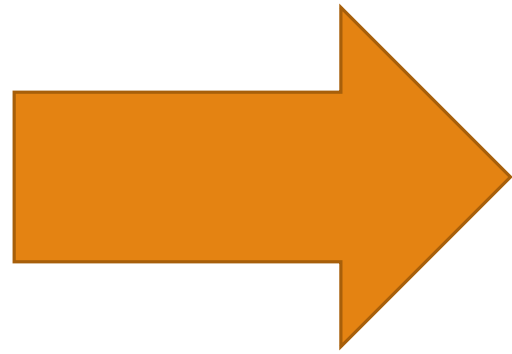
背景③核家族化

富士市の総人口、世帯数の推移						単位:人・世帯
	平成21年度	平成23年度	平成25年度	平成27年度	平成29年度	平成31年度
総人口	<u>261,519</u>	261,335	259,339	257,215	255,060	<u>253,410</u>
世帯数	<u>96,191</u>	97,802	99,410	101,581	103,569	<u>106,087</u>
平均世帯数	<u>2.7</u>	2.7	2.6	2.5	2.5	<u>2.4</u>

資料:住民基本台帳(各年度4月1日現在)

富士市の世帯数の推移





**親との同居が減っ
ている。**

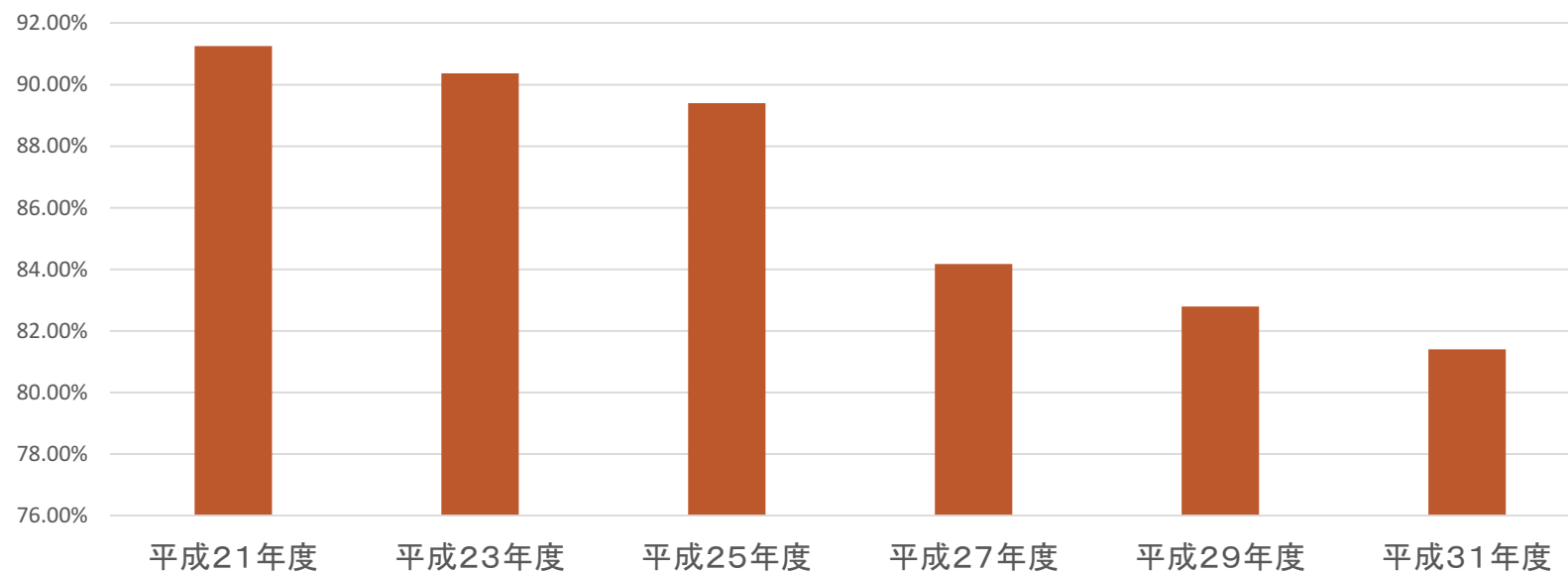
背景④隣近所や地域との関係が希薄になっている

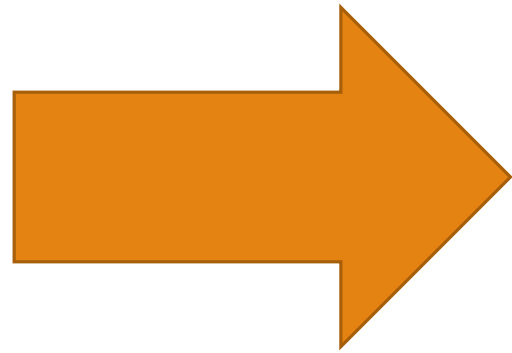
富士市の町内会加入率の推移

	平成21年度	平成23年度	平成25年度	平成27年度	平成29年度	平成31年度
加入率	<u>91.25%</u>	90.37%	89.40%	84.17%	82.79%	<u>81.40%</u>

資料：まちづくり課（各年度4月1日現在）

富士市の町内会加入率の推移

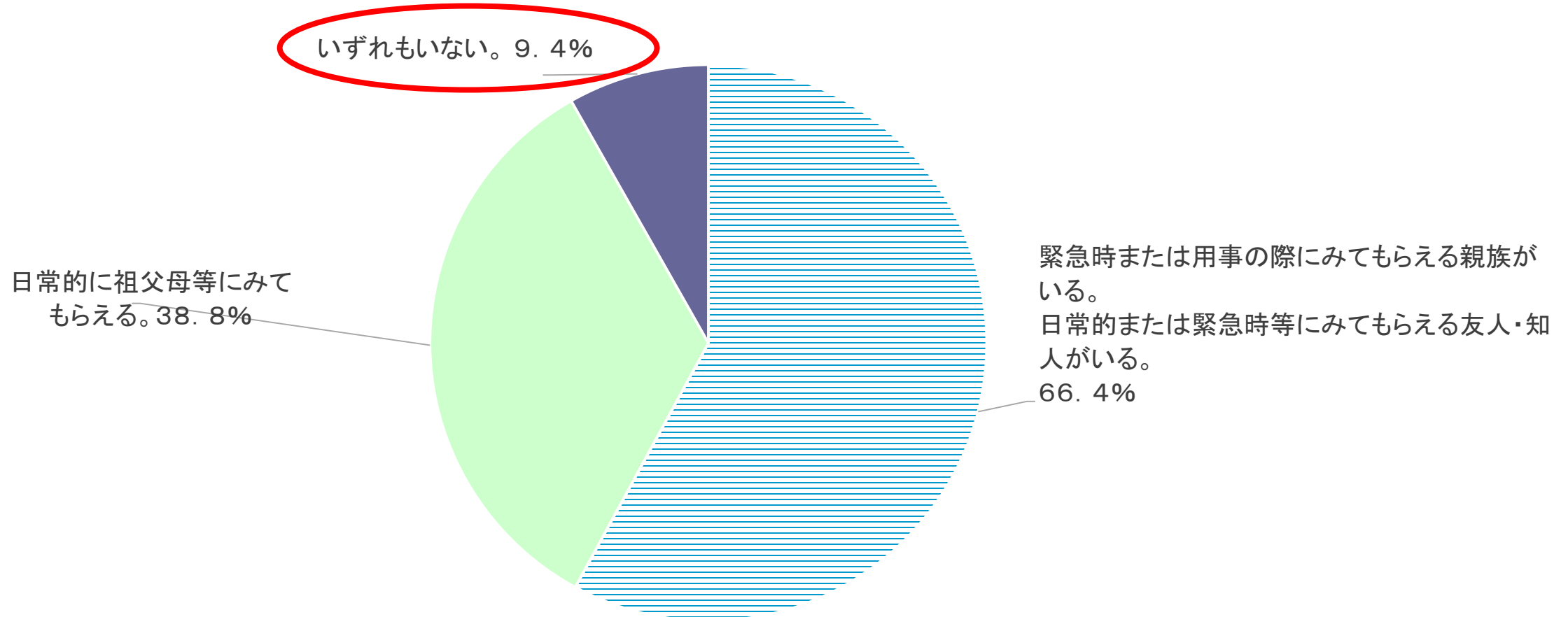




昔のような向こう三軒両隣が親しく付き合い、困った時には助け合える関係が少なくなってきた！

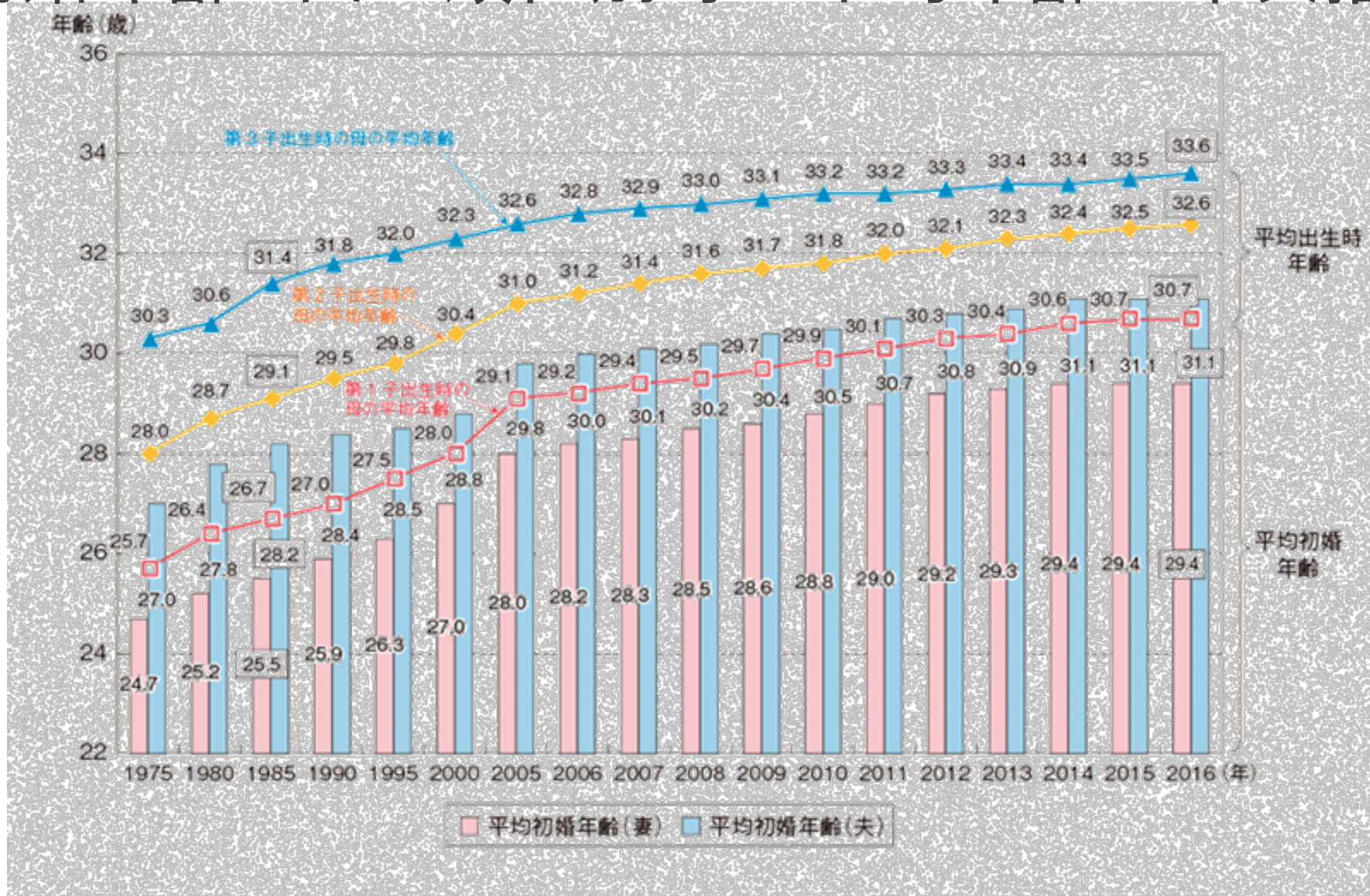
**特に地域と関わりにく
い、就学前の子を育て
ている世帯は、どのよ
うに子育てしているの
か？**

就学前の子を育てている世帯に対し、日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいるかという質問



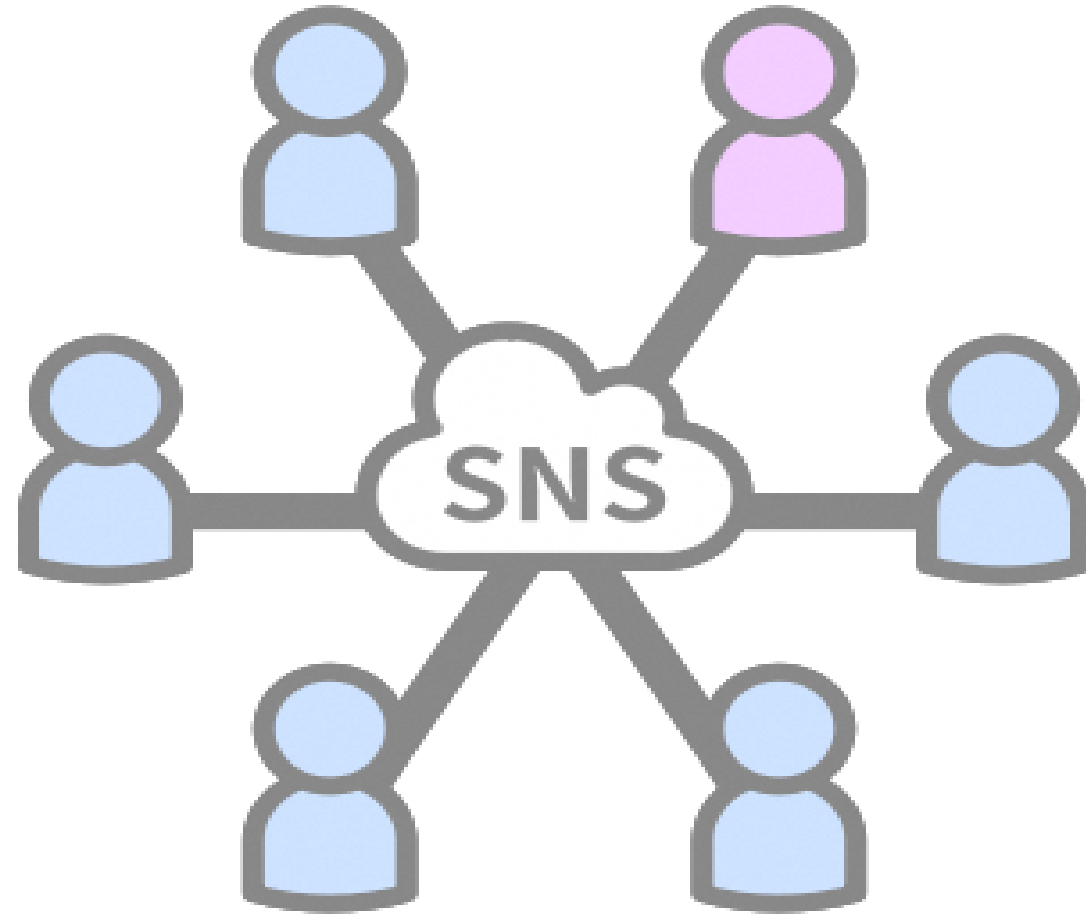
平成31年3月 富士市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」より

平均初婚年齢と出生順位別母の平均年齢の年次推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」

子育てにおいて、経済的にも、身体的にも、精神的にも負担が重く、とても辛いという声をよく聞く。



⇒顔の見える付き合いも大事！

提案

これからの三世代交流を提起し
地域の中で助け合い、
安心して子育てできる環境
を作る。

方法

**実際に三世代（子の世代、
子育て世代、シニア世代）
交流会を開催した。**

交流会① シニア世代の集会場所へ子育て世代が訪問

サロン川原宿 交流会

日 時：9月28日（土） 9:30～11:30

参加者：シニア世代 19人（女性18人、男性1人）

（サロン所属者60～90代）

子育て世代 7組（大人8人、0～7歳の子ども12人）

（大人：女性7人、男性1人）

プログラム：意見交換、常備菜の話と試食

交流会②

子育て世代の集合場所へシニア世代が訪問

菜桜助産所 交流会

日 時: 10月7日(月) 10:00~11:30

参加者: 子育て世代 5組(母親5人、0歳児の子ども5人)

シニア世代 5人(女性4人、男性1人)

(60代3人、70代2人)

プログラム: 意見交換、常備菜の話と試食

意見交換質問内容

質問1 ~シニア世代に対し~



子育て、または子どもに関わる中で、大変だったことも含めて、一番の思い出はどのようなことでしたか？

質問2 ~子育て世代に対し~



今、子育てしていて大変だと思うことはどのようなことですか？また、地域の人にしてほしいことはどのようなことですか？

質問3 ~両方の世代に対し~



今日の感想、気づいたことを教えてください。

質問1 ～シニア世代に対し～

子育て、または子どもに関わる中で、大変だったことも含めて、一番の思い出はどのようなことでしたか？

【良かったこと】



- ・夫や家族が助けてくれた。
- ・夫の姉妹が子供をかわいがってくれた。
- ・身内が近くにいないくて、地域に助けられた。

【困ったこと】



- ・病気や夜泣きの時、夫が手伝わなかった。
- ・男の子を望まれた。
- ・昔は、父親は外で仕事、母親は家で家事・育児という風潮だった。

質問2 ～子育て世代に対し～

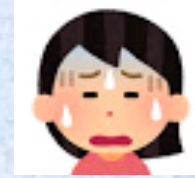
今、子育てしていて大変だと思うことはどのようなことですか？また、地域の人にしてほしいことはどのようなことですか？

【良かったこと】



- ・家族以外の声掛けが嬉しい。
- ・近所の“目がある”ことはありがたい。
- ・皆さんに大変だよねと共感してもらえてほっとした。

【困ったこと】



- ・社会的に男性が仕事、女性が家庭と考えている人がまだ多い。
- ・頻繁に来る義母の子育てアドバイスが辛い。
- ・実母にも気を遣う。
- ・地域での関わり方が分からない。
- ・共感できる同世代の友だちが欲しい。

質問3 ～両方の世代に対し～

今日の感想、気づいたことを教えてください。



- ・交流を持つことは大事。
- ・各地域でも交流会を開催して欲しい！
- ・まずは挨拶から始める。
- ・地域には味方がいっぱいいる。
- ・赤ちゃんと接すると刺激になる。
- ・シニア世代に、もっと関わらせて欲しい。

- ・大変だったが、子育て時代の方が楽しかった。

【共感】

- ・若いお母さんの考え方がしっかりしている。
- ・若い世代の子育てに感心。
- ・いつの時代も子育ては大変。

実施から見えてきたもの



- ・ **子育て世代**とシニア世代の交流を望む人は多いが、相手を尊重しないアドバイスはつらくなる。
- ・ **子育て世代**は、苦労を共感してくれると救われ、シニア世代の中で、共感してくれる人がいることが分かった。
- ・ 赤ちゃんと接すると刺激になると感じたり、もっと必要とされたいと思っているシニア世代がいる。

結論

- **夫婦・家族の中でのコミュニケーションが大事**
- **地域での適度な繋がり**
⇒ **個人を尊重した上での適度な交流**

そして 

社会の仕組みができると、価値観が変わる。

- **地域の中（なるべく身近な公会堂など）で世代間交流の場を何回か設ける。**
- **世代間交流の場には、世代間の関わりを取り持つクッション材になるような役割（ファシリテーター）が必要！**

あしたのために その1

富士駅南地区での取組

“住民が共に助け合い支え合うことにより、
誰もが生き生きと安心して暮らせる駅南地区を創りたい！”

27

講演会 と 意見交換会



(テーマ) ～子育て世代を孤立させないために～
“地域住民として何が出来るのか？”

(1) **講演会** (講師) 助産師 **堀田久美さん**
* 菜桜助産所 (代表)

(2) **意見交換会** (パネリスト) 園長 **今村雄一郎さん**
* 富士ふたば幼稚園



(パネリスト) 保育教諭 **井出歩美さん**
* 地域子育て支援センターぽっかぽか

(パネリスト) 助産師 **堀田久美さん**

(コーディネーター) 会長 **稲葉久利**
* 富士駅南地区福祉推進会

(日時) **12月5日(木)** 午後7時～
午後6時45分開場

(場所) 駅南まちづくりセンター 2F
小木の里ホール

* 託児あります。
当日でも受付
お申込み下さい！

お気軽に、ご来場ください！

まちセン ☎63-2625 又は
稲葉 ☎090-2187-7211



主催 **富士駅南地区福祉推進会**

共催 **富士駅南地区まちづくり協議会**

後援 ・富士市・富士市社会福祉協議会・富士南部地域包括支援センター
・富士駅南地区区長会・富士駅南地区生涯学習推進会
・富士駅南地区児童民生委員協議会・まちづくり協議会福祉部会
・富士第二小学校PTA・富士第二小学校子ども会世話人会

駅南福祉の“合い言葉はノーマライゼーション”

ご清聴ありがとうございました。